

# 安城市内景況調査結果 (2020年10月～12月)

＜全業種において厳しい業況が続いている＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 101企業
2. 調査対象時期 2020年10～12月期  
(1)前年同期(2019年10～12月)と比べた今期の状況  
(2)今期と比べた来期(2021年1～3月)の先行き見通し

### 3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	23	20	24	25	9	101
構成比	22.8%	19.8%	23.7%	24.8%	8.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、-51.5ポイントとなった。業況判断の前回実績(-65.7)と比較すると14.2ポイントの増加であった。企業の業況は、前回の調査よりは改善されたものの依然として厳しい状況が続いている。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△65.7	△51.5	△31.7
売上高	△66.7	△55.6	△32.3
売上単価	△34.6	△37.4	△29.3
資金繰り	△28.2	△25.3	△24.5
借入難度	0.0	△2.1	△9.3
収益状況	△53.3	△53.5	△38.4
雇用人員	△3.8	△3.0	△2.0

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△51.5		△39.1		△50.0		△50.0		△64.0		△55.6	
	売上高	△55.6		△39.1		△70.0		△50.0		△65.2		△55.6	
	売上単価	△37.4		△30.4		△45.0		△45.8		△39.1		△11.1	
	資金繰り	△25.3		△26.1		△15.8		△12.5		△41.7		△33.3	
	借入難度	△2.1		0.0		0.0		△4.2		△4.5		0.0	
	収益状況	△53.5		△39.1		△55.0		△52.2		△70.8		△44.4	
	雇用人員	△3.0		△4.3		△15.8		8.7		0.0%		△11.1	
来期の見通し	業況判断	△31.7		△4.3		△50.0		△29.2		△40.0		△44.4	
	売上高	△32.3		△17.4		△45.0		△33.3		△34.8		△33.3	
	売上単価	△29.3		△26.1		△30.0		△33.3		△26.1		△33.3	
	資金繰り	△24.5		△8.7		△21.1		△33.3		△34.8		△22.2	
	借入難度	△9.3		0.0		△5.6		△20.8		△13.0		0.0	
	収益状況	△38.4		△17.4		△35.0		△47.8		△54.2		△33.3	
	雇用人員	△2.0		8.7		△5.3		△4.2		△4.0		△11.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。